

ひがしはら

平成27年5月29日
第2号
杉並区立東原中学校

“目標に向かって順調なスタート！！”

副校長 賀屋 寛

新学期が始まり、早いもので2ヶ月が経ちました。1年生もいろいろな行事を経験することで、硬さもとれ、成長した様子が随所に見られるようになりました。昨年度末に、1年生が何人入ってくるのか大変心配しましたが、57人の生徒を迎えることができました。

予想を大きく上回る人数が集まった背景には、在校生の保護者の皆様がロコミで、本校の良いところを広めていただいたことを聞きました。本当に感謝しております。今後も地域から生徒が集い、常に2クラス維持できるように、より魅力的で信頼される学校作りに努めて参ります。

さて、その1年生は、入学してすぐの4月21日（月）～22日（火）に練馬区立軽井沢少年自然の家「ベルデ軽井沢」を利用して、フレンドシップスクールに行ってきました。大自然の中で、運動会の学年種目である「いかだ流し」の練習、校歌の四部合唱のパート別練習、飯ごう炊飯で作ったカレーなど東京では味わうことのできない素晴らしい体験を積み重ねることができました。何よりこれからの中学校生活において、みんなが気持ちよく過ごすためのヒントがたくさんありました。「気持ちをそらせること」の大切さや「失敗した経験を修正して次に生かしていかなければならないこと」を、一人一人が感じて、学ぶことができました。

5月18日（月）の生徒朝礼では、今年度のクラス目標の発表がありました。いつものことながら、生徒会役員が中心となり、学級代表委員がクラス毎にきちんと並ばせ、時間通りに始まります。人が話をするときには、誰が注意することもなく、静かになり、自然と顔が上がり聞く体制が整っています。このあたりまえのことが、あたりまえにできることがしっかり引き継がれていることに学校の強さを感じます。その土台があるからこそ、どのクラスの目標にも「自由と責任」を意識した中で、この1年を「仲間達と頑張っていく」という意気込みが感じられました。

来月6日（土）には、**第66回運動会**が開催されます。暑さの中、全校一丸となった練習が始まりました。運動会実行委員会が掲げた今年の全体スローガンは“心をひとつに～Do our best!!～”。赤団（A組）は“**限界突破**”と白団（B組）は“**電光石火**”です。今年も原中ソーラン節を有志生徒が披露いたします。保護者・地域の皆さまには、是非ともご来校いただき、原中生の純粹で誠実に取り組む姿に、大きな応援とご声援をよろしくお願いいたします。

